

小児における発熱等風邪症状の対応と登校基準

1. できるだけ医療機関受診し、医師の診察を受ける。
2. 地域の流行や接触から感染が疑われる場合は、できるだけコロナ検査（PCR や抗原検査）を受ける。
3. 登校基準
 - ① コロナ検査が（-）でも接触等からコロナ感染が強く疑われる場合
→発症日を0日目として10日間経過し、かつ症状軽快し解熱剤を使用せずに平熱が24時間以上続いていることを確認してから。
※「症状軽快」とは、発熱・倦怠感・咽頭痛が治まっていて、全体に症状改善傾向のこと。
 - ② コロナ検査が（-）で、接触が明らかでない場合
→症状軽快し解熱剤を使用せずに平熱を24時間確認してから。
 - ③ 感染の恐れが低いと判断され、コロナ検査も行わなかった場合
→症状がなくなり次第。